

日産スタジアム



ボランティア

NISSAN STADIUM

ボランチわ

2025年7月発行



第41号

「ボランチわ」は日産スタジアムボランティア情報誌です

ラグビー日本代表とオールブラックスが日産スタジアムで対戦！ 「リポビタンDチャレンジカップ2024」



ニュージーランド代表・オールブラックスによる試合開始前の儀式ハカ

2024年10月26日(土)、リポビタンDチャレンジカップ2024による国際試合「ラグビー日本代表 vs ニュージーランド代表オールブラックス」が日産スタジアムで行われました(観客数 60,057人)。ラグビーファンにとって待望の好ゲームなので、多くの観客が来場しました。試合開始前にはオールブラックスによる恒例の儀式ハカを披露して、多くのファンが盛り上がりしました。ハカはマオリ族の戦士が戦いの前に相手を威嚇する踊りが元になっており、オールブラックスのハカには相手チームに対する尊敬や感謝の気持ちも含まれていると言われています(諸説あります)。試合開始後、日本代表チームが攻め込んで7点を獲得しましたが、地力に勝るオールブラックスが得点を重ねて、19対64の大差で勝利しました。久々のラグビー国際試合で100名以上のボランティアが参加して、チケットチェック、カン・びんの移し替えやベビーカー預かり、チラシ配布の活動を行いました。活動に携わったスタジアム職員の方々、ボランティアの皆さま、お疲れ様でした。(久保 勝美)

ボランティアの笑顔で、スマイルスタジアム

JA全農チビリンピック2024開催

～全国からスポーツ大好きな小学生が日産スタジアムに集まりました～



開会式に参加する小学生の選手たち

2024年5月5日(こどもの日)、スポーツが大好きな多くの小学生が日産スタジアムに集まって、JA全農チビリンピック2024がすばらしい晴天の下で開催されました。開会式では元オリンピック選手を含むゲストと各学年の聖火ランナーがスタジアム内を走り、バックスタンドの聖火台に点火しました。今年から小学1年生から6年生の一輪車種目が加わりました。選手たちは一輪車の名手でとても速くコースを走りましたが、トップを走る選手が一輪車から転倒して順位が大きく変わりました。ハラハラする競技でしたが、一輪車を速く走らせる技術と平常心のバランスの取れた選手が1位になれたようです。競技に参加して1位になった小学生は表彰状と重たい袋詰め副賞をもらってとてもうれしそうでした。また順位に関わらず、競技を終えた選手は緊張から解放されてほっとした様子で保護者のところへ戻って行きました。日産スタジアムボランティアは前日に袋詰めやゼッケンの準備作業を行い、当日は7時からゼッケン渡し、成績・記録、賞品準備・配布、記録証配布などの担当に分かれて活動しました。たくさんの小学生が参加した大会で、活動を行いながら小学生の活躍を見ることができて楽しい1日でした。(久保勝美)

2024インラインチャレンジ in 横浜

2024年11月16日(土)、17日(日)に日産フィールド小机の周辺や日産スタジアムから日産フィールド小机近くを下るスロープで2024インラインチャレンジin横浜が開催されました。スピードを出してスロープを下る「インラインアルペン・スピードスラローム競技」が行われました。またインラインスケートの順位を競うのではなく完走を目標に楽しめる「かけっこ」には親子が一緒に参加しました。ロードトライアル、ロードレースなどの競技には多くの参加者がスピードを出して順位を競いました。小さな子どもから大人までインライン選手が普段走行できない新横浜公園内のコースを思い切り楽しんでいました。ボランティアはインライン選手が走行するルート周辺で、歩行者が横断歩道を渡る時の指示を行って、また歩行者が競技エリアに入らないように誘導を行いました。(久保勝美)



インラインスケート競技スタート前の集合写真



スタートの合図で飛び出す選手

5時間耐久リレーマラソン



親子マラソンのスタート直後に勢い良く走り出します

2024年12月15日(日)、気持ちの良い晴天となり昼間は心地よい気候で、日産スタジアム5時間耐久リレーマラソンが開催されました。最初の競技は親子マラソンで親子が仲良く走りました。中にはタイムを気にせず日産スタジアムのコースを楽しみながら走る親子の姿が見られました。5時間耐久リレーマラソンでは2～15人が1チームを作り、最低1人が1周走り、残りの距離をチームメンバーが走る順番や周回回数を自由に決めることができます。5時間以内に周回数が多いチームが優勝となります。ボランティアは給水、リレーゾーン管理、グランド出入口管理を行いました。優勝を目指して順調に周回数を増やしていくチームがある一方、チームメンバーで楽しみながら走るチームも見られました。(久保勝美)

日産スタジアムサイクルパークフェスティバル



新横浜公園内のコースを疾走するライダーたち

2024年9月23日(月・祝)、朝まで雨が降っていましたが、競技が始まる頃には雨が止んで予定通りにレースがスタートしました。日産スタジアム内のトラックがスタート地点でマラソングートから外に出て、新横浜公園の特設コースを周回してスタジアム内に戻ってきます。種目はキング300の部、チャレンジ120の部、チャレンジ180の部、エンジョイ60の部が設定されています。多くのレース経験があるエリートライダーから初めて自転車のレースに出場する初心者向けの競技があり、多くのライダーが楽しんでいました。(久保勝美)

日産スタジアムボランティア親睦会

～ 活動中にお話しできなかった方々とゆっくりお話しすることができました ～



スタジアム4Fと5Fコンコースで親睦会



ボランティアルームで抽選会と懇談会

2024年8月3日(土)、日産スタジアムでビアガーデンが開催され、それに合わせてボランティア親睦会が行われました。17時30分に東ゲートから入場して、抽選券が配られラッキーな方は横浜F・マリノスグッズなどが当たりました。4Fと5Fコンコースに分かれてスタジアム売店でビールなどのドリンクやおつまみを購入して、普段の活動中にお話しする機会のなかった方々とも楽しいお話をしました。

1時間30分程度の親睦会の後に、ボランティアルームに移動して、抽選会と懇談会を行いました。事前に抽選会の商品や懇親会のドリンクやおつまみが用意され、久しぶりにボランティアルームで和気あいあいとした雰囲気を楽しむことができました。(久保勝美)

日産スタジアムボランティア在籍20周年を讃える感謝状贈呈について



活動日に在籍20周年を称える感謝状贈呈



謝恩会で在籍20周年を称える感謝状贈呈



在籍20周年の7名(前列目)と一緒にスタジアム内で記念撮影

日産スタジアムボランティアの活動を20年の永きにわたって続けてこられた2003年登録(IDナンバーの最初4桁が2003)の9名の方々の功績を讃えて、日産スタジアムから感謝状が贈呈されました。活動に参加された方にはその都度、感謝状をお渡ししました。

今年の1月5日(日)、在籍20周年を迎えたボランティアの内、7人が出席して日産スタジアム内のレストランで謝恩会を行いました。日産スタジアム事業部甲斐部長からご挨拶がありました。「ボランティア活動が20周

年となられた方々、おめでとうございます。日産スタジアムは完成から30周年に向けていろいろと考えています。ボランティアの皆さんと一緒に30年を迎えたく、これからも宜しくお願いします」。事業課秋本課長からは、「私もボランティア活動を行っています。その活動の中で自分にやれることを考えながら活動しています。まだ若い人には負けない気持ちです。ボランティアの皆さんには活動を終えて笑顔で帰ってもらいたいです。そのために健康第一で、これからもご活躍下さい。」とお言葉をいただきました。

2025年「新横浜公園 凧揚げの日」

1月13日(月・祝) ボランティアルームに9時に集合、活動内容を説明した後に、新横浜公園内の会場に移動しました。凧の表にお絵かきする為にテーブルを10台並べ、マジックペンなどの備品を準備して、昔遊び用具を揃えました。10時受付開始の予定でしたが、9時30分の時点で十数人の参加者が並び始めたので、予定を変更して9時45分に受付を開始しました。参加者は用意されたテーブルで凧作り、お絵かきを始めましたが、すぐにテーブルは満員となり、追加のテーブルを設置しました。11時には在庫の凧揚げセットが残り30個となり、15時終了の予定でしたが、11時30分に在庫がなくなり受付終了となってしまいました。全くの予想外の大盛況でした。お天気も良く、また事前のPRの効果もありました。一番に心配した「風」も10時には最高の「凧風」が吹き始めて、子どもさんも大喜びでした。凧が売り切れてしまったので、「昔遊びコーナー」も大盛況でした。会場は14時に終了しました。

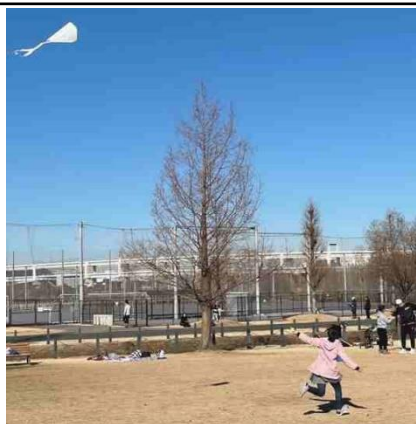
反省として、来年度はセット数を倍ほど用意しなければなりません。凧セット作りは事前準備が重要で、入手が必要です。ボランティアの皆さんのご協力を是非宜しくお願い致します。(安田十四雄・写真提供久保勝美)



好きな絵を熱心に描いています



凧に上手に絵を描けました



風によって凧が高くあがった



初めての羽付き、上手にできるかな

2024年度多くの子ども達が『田植え体験』に参加しました！

～グリーン＆クリーン部会が恒例の行事を開きました～



田植えを終えて「楽しかった！」とポーズをとりました

2024年6月2日（土）、運営ボランティアのグリーン＆クリーン部会が主催している行事「親子で楽しく米作り、植えて覚えよう花の名前」が新横浜公園の中にある田んぼで行われました。早朝に降った雨が止み、晴れ間がのぞくコンディションでした。一般公募の家族（大人21名、子ども16名）が参加しました。今年は例年よりも小さな子どもの参加が多かったので、田んぼに入ることをためらったり、やっと田んぼに入っても田植えを少し行ったら、泣き出して田んぼから外に出たいと言い出す子どももいました。それでもボランティアから教わった田植えのやり方に従って、きちんと田植えを進めて行きました。田んぼの泥に足を取られて尻もちをついた子どもは笑顔で楽しそうにしていました。小さな子どもが多い中で、高学年の子どもが一人いて、一番手慣れていました。話を聞いてみると、「今年、小学6年生になりましたが、新横浜公園の田植えには小学1年生からずっときていて、田植えを楽しみにしています」。田植えはお父さんやお母さんの手助けもあって順調に進みました。田植えの上手なお母さんは「青森出身で実家は田んぼに囲まれた環境で育ちました」と笑顔で話をしてくれました。田植えを終えて板にメッセージを書いて自分が田植えをしたところに打ち込みました。メッセージの中には「おいしくなってね+動物の似顔絵」とかわいらしいものもありました。数十年前には家族で田植えをする光景が見られましたが、最近では近所に田んぼがないことや田植えが機械化されて経験する機会がめっきり減りました。それでも田植えを体験してみると、手足が泥だらけになり顔に泥を付けても、「楽しかった」と語っていました。田植え以外にも花壇に花の苗を植えて植物に親しみました。

最後に参加した親子全員とボランティアが田んぼの前に並んで集合写真を撮りました。参加者の笑顔が忘れられません。スタジアム職員の方々、グリーン＆クリーン部会の皆様、行事の計画や田起こしや代掻きなど準備作業を行って頂き、お疲れ様でした。

（久保勝美）



参加者の受付風景



幼い子どもが田植えに挑戦



上手に花の苗植えができました

2024年度「案山子作り体験」に8組の親子が参加しました ～子どもたちにとって、夏休みのよい思い出になりました～



日産スタジアムの中で案山子を持ちながら記念撮影

2024年8月4日(日)午前10時から8組の親子が4階のコンコースに集まり、案山子作りに挑戦しました。この日、横浜は36度の暑さで入口では熱中症対策としてペットボトルが配られ、グリーン＆クリーン部会の皆さんが何回も「熱中症には気を付けてください」と注意喚起をしていました。

まず初めにボランティアが案山子作り方の説明を行い、その後は家族ごとに案山子作りを始めました。中には参加が3回目というご家族もあり、「以前、子どもが着ていたお気に入りの服を持って来ました」とお母さんが教えてくれました。また、お父さん、お母さんだけではなくおじいちゃん、おばあちゃんまで参加して「家族6人できました。夏休みのよい思い出になります」と話していたご家族もありました。グリーン＆クリーン部会の皆さんが1家族に1人お手伝いに入り、どのご家族もスムーズに作業が進んでいました。

案山子ができあがると、案山子に付けるメッセージを書きました。案山子に名前を付けたご家族も多く「アマビエちゃん」やアニメの主人公の「悟空」という名前が付けられていました。「あらたちゃん、がんばってね」というメッセージもあり「あらたちゃん」の名前の由来を聞くと「新横浜公園」の「しん」を「別の読み方にしました」というアイデアがいっぱいの名前もありました。

最後にスタジアムで記念撮影をして解散になりました。カラフルな素敵な案山子がたくさんできたので、秋

までしっかり稲穂を守ってくれることと思います。

グリーン＆クリーン部会の皆さんは、前日に案山子作りの準備や案山子のパーツを並べたりする作業をされたそうです。地道な裏方の活動が多くのご家族の笑顔につながっているのだと感じました。グリーン＆クリーン部会の皆さん、お疲れさまでした。(坂田圭美)



初めに案山子作りについてボランティアが説明します



ボランティアが家族ごとにお手伝いをします



小さな子どもが参加して案山子作りを体験しました



全員が力を合わせて素敵な案山子が仕上がりました



田んぼ近くにきれいに並んだ案山子

10組の家族が参加して『稲刈り体験』を楽しみました！

2024年10月6日(日)、10家族合計30名とグリーン＆クリーン部会14名によって稲刈り＆花植え体験が行われました。前日から当日の朝まで小雨が降っていたため、グリーン＆クリーン部会の方々が鎌や子供用の長靴の用意だけでなく、お子さんたちが濡れないように稲の水を払うなど入念な準備の末に行われました。普段は泥で遊ぶことが少ないお子さんが多いなか、1人のお父さんが「これが泥なんだよ。」とお子さんに話しかけていたのが印象的でした。田んぼのぬかるみがひどい場所では段ボールを敷き、その上にお子さんたちが立って稲刈りを行いました。最初は恐々と稲の根元を触っていたお子さんたちもいつの間にか慣れた手つきで稲刈りをするようになっていました。お父さん、お母さんも熱心に稲刈りをされて、お母さんが「お父さん、かっこいいね」と笑顔でお子さんに話していました。稲刈りが終わり帰るときにお母さんが「こういう体験ができてよかったね」と言うと、お子さんが「また来たい」と笑顔で答えていました。最後は全員で記念撮影をしました。途中からは太陽も顔を出し、爽やかな秋のイベントは盛況の中で終わりました。(坂田 圭美)



楽しい稲刈りを終えて、全員で記念撮影



最初にボランティアから稲刈りの説明を聞きます。



稲刈りを上手にできました。



家族そろって稲刈りを終えて、すてきな笑顔です。



子ども達が案山子の前でポーズ。



稲刈り体験に参加したグリーン&クリーン部会メンバー。

能登半島地震災害義援金に対して、輪島市長から感謝のお礼状が届きました

2024年1月1日に発生しました能登半島地震で、スタジアムボランティアの皆様から合計122,798円の義援金が集まりました。義援金は甚大な被害を受けた輪島市に送金され、この度、輪島市長 坂口茂様よりお礼状が届きました。以下にお礼状の内容を記載します。（日産スタジアムボランティア事務局）

～ 義援金をお寄せいただいた皆様へ ～

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年1月1日に発生した令和6年能登半島地震により、本市におきまして、かつて経験したことのない未曾有の被害を受け、多くの尊い市民の生命と財産が奪われました。

また、9月21日から23日にかけて発生した能登半島豪雨により、更なる被害が加わりました。

このような中、皆様から義援金を賜り、感謝の念に堪えません。皆様の心温まるご厚情に対し、市民を代表して心から御礼申し上げます。

皆様からお寄せいただいた義援金につきましては、被害に遭われた方々の生活再建の援助金として、また、本市の復旧・復興のために、有効かつ大切に活用させていただきます。

皆様からのご支援のお気持ちは、生活再建へ努力している被災者の方々にとりまして、大きな心の拠り所となり、復旧・復興への希望となります。

これまで全国、多方面から力強い支援や数多くの激励を賜り、復興への歩みを進めておりますが、決して平たんな道ではなく、長い時間を要すると考えています。

安心・安全に暮らすことのできる日常を取り戻すため、皆様のご支援を励みに、1日も早い復旧・復興に向け、市民一丸となって、全力で取り組んでまいりますので、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の今後ますますのご健勝を心から祈念申し上げ、御礼の言葉といたします。

輪島市長 坂口 茂

新横浜公園 日産フィールド小机近くに相撲場(すもうば)完成

2月22日(土)、新横浜公園の日産フィールド小机と中央広場近くに相撲場(すもうば)が完成して、お披露目式が執り行われました。公益財団法人日本相撲協会所属 伊勢ヶ濱部屋の照ノ富士親方(第73代横綱)が横浜市に相撲場(土俵)を寄贈され、この度、鉄骨造の屋根付きの施設が完成しました。当日は照ノ富士親方が来場され、「横浜市を含めて日本全国に相撲場を造り、相撲好きの子ども達を増やしていきたい」とご挨拶がありました。それから伊勢ヶ濱部屋の力士や高校生相撲部員による模範稽古や子ども相撲が披露されました。(久保勝美)



新横浜公園の相撲場完成お披露目式の様子 (日産スタジアム北ゲートから見下ろす)



照ノ富士親方

日産スタジアムボランティア2023年度 J1リーグ、ACL、ルヴァン杯最多活動者表彰

2023年度の横浜F・マリノス戦(J1リーグ・ACL・ルヴァン杯)活動で10回以上参加された方々に、多大なる貢献をされたことを讃えて、日産スタジアムから表彰状が贈呈されました。活動日に表彰状の授与式を執り行って、副賞といっしょに表彰状をお渡ししました。同様の表彰は2024年度も継続して行われます。(久保勝美)



2023年度横浜F・マリノス戦に10回以上活動者の表彰式

公益財団法人横浜市スポーツ協会公園管理局職員の人事異動のお知らせ

令和7年4月1日付人事異動に伴い、横浜市スポーツ協会公園管理局長に松寄尚紀さまが着任されました。2025年4月5日、J1リーグの横浜F・マリノス対東京ヴェルディ戦のボランティアミーティング時にご挨拶がありました。

「1999から日産スタジアムボランティアが始まったことですが、こんなに長い間、活動しているボランティア集団は横浜市には無いと考えています。」

「私はかつて1998年の横浜国際総合競技場の完成に向けて建設に携わってきました。それ以降のスタジアムの歴史を作っていただいたのが、ボランティアの皆さまだと感謝しております。これからも宜しくお願い致します。いよいよ26年目が始まります。今年度も宜しくお願い致します。」（久保勝美）



松寄 尚紀局長

令和6年度 運営ボランティア事務局会議議事録

令和7年2月24日

（出席者）安田、上田、大家、久保正、中尾、羽賀、久保勝、ハツ橋、松村、青山、鳥居、秋本課長、黒木

1 各部会からの報告

1) リーダー部会(上田)

リーダー部会で情報を共有してスムーズな活動ができた。

2) イベント部会(久保正)

2020年以降、コロナ感染拡大によってイベントの開催を見合わせているが、今後、コロナ感染や食中毒の発生することを防止しながらイベントを計画する。

3) 研修部会(部会長について検討中)

全体研修を実施することにより、ボランティアの意識高揚が期待できる。ボランティアのためになる研修内容を検討する。

4) 情報部会(久保勝)

ボランチわ第41号の編集を継続中。

5) 環境・美化部会(中尾)

市民活動支援事業の助成金をもらって活動を継続する予定である。新横浜公園内の田んぼを使って、田植え体験、案山子作り、稲刈り体験を実施する予定である。中央広場の花壇の整備は維持していく予定である。

2 2004年入会ボランティアへの感謝状について

入会から20年経ったボランティアへ感謝状を贈呈する案が了承された。

3 年間活動精勤賞について

2024年に10回以上活動されたボランティアをリストアップして、表彰状を贈呈する。

4 ピッチランド活動内容について

昨年、ピッチランドの活動を行ったが、多くの観客がピッチランドを利用する際に待機列が長くなって混雑するので改善方法について話し合った。

5 その他

1月13日(月・祝)に実施した凧揚げの日について、大変盛況で事前に用意した凧揚げセットは予定時間より大幅に早く無くなりました。来年の凧揚げの日に向けて多くの凧揚げセットを用意する方向で進めるので、準備に多くのボランティアの参加を要請していきます。

※ INFORMATION ※

令和7年8月～11月の活動予定

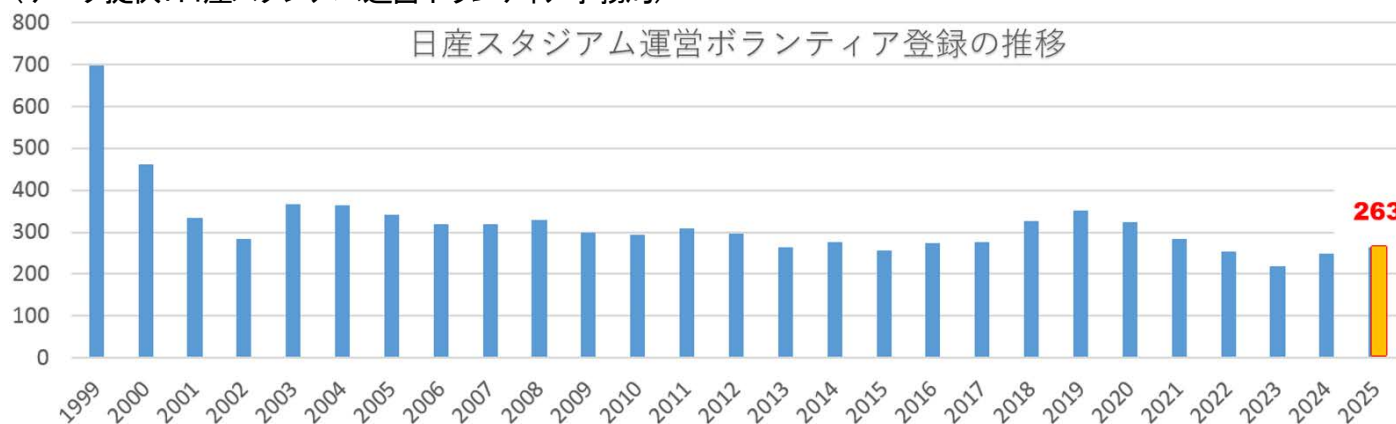
イベントの時間や人数の変更、活動の追加や中止の可能性があります。活動参加の連絡が届いた場合は確認して下さい。

月日	イベント名	集合時間	終了予定	要員
8/23(土)	J1リーグ 横浜F・マリノス vs FC町田ゼルビア(第27節)	16:00	21:30	126人
9/3(水)	【ルヴァンカップ】横浜F・マリノス vs 柏レイソル	15:30	21:00	126人
9/13(土)	J1リーグ 横浜F・マリノス vs 川崎フロンターレ(第29節)	15:30	21:00	126人
9/20(土)	J1リーグ 横浜F・マリノス vs アビスパ福岡(第30節)	15:30	21:00	126人
10/18(土)	J1リーグ 横浜F・マリノス vs 浦和レッズ(第34節)	10:30	16:00	126人
10/25(土)or 10/26(日)	J1リーグ 横浜F・マリノス vs サンフレッチェ広島(第35節)	未定	未定	126人
11/30(日)	J1リーグ 横浜F・マリノス vs セレッソ大阪(第37節)	10:30	16:00	126人

日産スタジアム運営ボランティア登録人数の推移（1999年～2025年）

日産スタジアム運営ボランティア登録者の人数はコロナウイルス感染拡大前の2019年が351名でしたが、コロナウイルス感染拡大が続いて、2023年には219名と大幅に減少しました。その後、2024年に248名、2025年に263名がボランティア登録を済ませました。横浜市スポーツボランティアセンターを通して日産スタジアムボランティアを募集したことにより、新規登録者が増えたことが一因となっていると考えられます。

(データ提供: 日産スタジアム運営ボランティア事務局)



編集後記

先日、NHK BS放送の「スポーツ×ヒューマン サッカー・三笥薫」を観ました。2022 FIFAワールドカップカタール大会のベスト8進出をかけて日本代表はクロアチアと対戦してPK戦で惜敗しました。三笥選手はその試合を思い出して、インランド・プレミアリーグの名門ブライトンで進化を遂げています。来年開催される2026 FIFAワールドカップで日本代表が悲願の優勝を果たすことを決意してイングランド・プレミアリーグで技を磨いています。今から来年のFIFAワールドカップ大会(アメリカ・カナダ・メキシコの3カ国共同開催)が楽しみです。(久保 勝美)

発行・編集: 日産スタジアム ボランティア事務局 情報部会

〒222-0036 横浜市港北区小机町3300 日産スタジアム TEL: 045-477-5030 FAX: 045-477-5002